

教育委員会だより

汚い所をきれいに！

大人が手本を示し、優しい心の子どもを育てよう

7月～8月にかけて、市内小中学校の全教職員が中学校区ごとにトイレ掃除の実践研修を行いました。この貴重な体験をもとに、2学期からは児童・生徒が取り組むトイレ掃除はもちろん、心の教育に活かされます。

日本を美しくする会・佐賀掃除に学ぶ会代表で榊賀イエローハットの山崎敬二会長を講師に招き、昨年11月の市教育委員会、12月の校長会に続く研修。講師の「汚い所をきれいにするのが優しい心を育てる第一条件。そのためには、大人が子どもにして見せることで、トイレを使うのも掃除するのも自然体。その営みを当たり前にして、みんなで取り組まなければならぬ」という精神を共有し、まず教育に携わる大人から児童・生徒へと実践し、自己を磨き、学校や地域を変えようという取り組みです。

8月19日は、西浜中学校区の24人が

講義を受けた後、西浜中のトイレ6か所を真剣磨き。掃除道具約30種類を工夫しながら効率よく活用し、指先から感じようと素手で体ごとぶつかり、隅々まで磨きあげました。

初めて参加した西部小の御厨有花教諭は「さびついた所に向かって磨いていくと、私の中の迷いや悩みも一緒に晴れていき、きれいにすることは心に通じていることを感じました」と話され、講義と実践で得た大切なことを体感。全教職員が2学期からの教育実践に活かそうと張り切られていました。



▶「トイレ掃除は心磨き！」と無心になって磨き上げる教職員

定例教育委員会のお知らせ

8月10日に定例の教育委員会を開き、平成22年度に多久市立中学校で使用する教科書の採択について協議、決定しました。

また、8月18日には臨時の教育委員会を開き、「地方教育行政の組織および運営に関する法律」に基づいて、多久市の「教育に関する事務の管理および執行の状況の点検および評価」について教育委員による評価を実施しました。

次回の定例教育委員会は、9月10日(木)の13時30分から第3委員会室（市役所2階）で開催します。傍聴は自由です。

■問い合わせ

教育委員会教育統括室
(市役所4階) ☎75-3450

宝くじの助成金で整備されました



財団法人自治総合センターでは、宝くじの販売収益財源として、地域コミュニティの健全な発展と宝くじの普及・広報を行うため、コミュニティ助成事業を実施されています。

平成21年度、多久市では4つの団体が事業の採択を受けました。今回は、このうち北多久町砂原区の取り組みを紹介します。

●砂原区

区が主催する敬老会や総会等に参加される高齢者等の負担を軽減させるため、折りたたみ椅子と会議用テーブルを整備し、公民館の利用促進と住民の融和、地域コミュニティの高揚を図る事業に対し助成されました。

■会議用テーブル



■折りたたみ椅子



■問い合わせ

総務部経営統括室 企画経営係 ☎75-2116